

石産協通信

sekisankyo tsuushin

第27号

発行日:2013年3月15日



一般社団法人

日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681
<http://www.japan-stone.org/>
企画・編集・発行:広報委員会

お茶って、自分の家で作れるんや〜

(社)日本石材産業協会 会長 射場一之

私は市のPTA協議会の会長をしています。先日、幼稚園の子どもを持つお母さんが「うちのお母さんがお茶を作っているなんて、見たことないわ〜。いつもペットボトルのお茶やったし。お茶って自分の家で作れるんや〜」と感動(?)している場面に出くわしました。ペットボトルのお茶ばかりを飲んで育った人にとって、お茶は「いれる」ものではなく、「つくる」もののようです。先日行われた日教組の教研集会で「今の高校生は日本茶の入れ方を知らない」という報告がありました。福岡県の高校の家庭科の先生が生徒にアンケートを取ったところ、冬に家で飲むお茶を「急須でいれる」と答えた生徒は2割しかいなかったとのこと。また、授業では急須を直接火にかけようとする生徒もいたそうです。

さらには、料理教室の先生に急須を「これは何ですか」と聞く受講生がいたという話を、以前新聞で読んだこともあります。

あなたは、これらの話を聞いてどう思いましたか？

「信じられない」と、思わず笑ってしまいましたか……？

私は、笑っている場合ではないと思うのです。文化や歴史と無縁に子どもたちが育つのを寂しがってばかりもいられないと思うのです。

この調子でいくといつか、「お墓を知らない子どもたち」が出てくるのかもしれません。いまこそ「お墓を持つことが、人生にどれだけ素晴らしい瞬間をもたらすのか」ということを、業界をあげて発信してゆかねばならない時です。言いかえれば、「お墓がないと人生をどのように損するか」を、消費者に教える時だと思うのです。

「『子や孫に負担はかけたくない』というのは誰もが持つ親心です。しかし、負担の軽減と引き換えに大事なものが失われてしまっは困ります。一度立ち止まって、考えてみませんか？」と、世の人々に問いかけて行くのは今です。未来はもう始まっています。未来は今にあります。

壁墓地や公営樹林墓地の登場、納骨堂の急激な増加など、いま墓石業界は逆境に立たされていると言えるかもしれません。建築石材業界もまたしかりです。しかし、逆境に絶望するのが人間ならば、希望を創り出していけるのも人間です。時は返りません。今なすべきことを今なしておかないと、未来に大きな悔いを残すことになります。お墓文化の、石材業の歴史を、汚してはなりません。人に熱意と誠実さがあれば何事も達成できると私は信じています。「お墓文化」「石文化」は決して廃れません。もし廃れたとしたら、それは私たちに「お墓文化」「石文化」を守り、後世に伝えようとする熱意と誠実さがいないからだと思うようにしませんか——。心は見えます。しかし、心はつながります。心は心を動かします。一生懸命で健気な姿勢に、人は、世代を超えて共感するものだと思います。人が発揮し得る最大の説得力は「真剣さ」だと私は思います。そして——お墓がもたらす心の豊かさや、身近に石のある環境がもたらす豊かな気持ちを必要としている人は必ずいる、私はそう思います。

私たちがめざす理想。それは一人でも多くの人を笑顔にし続けていくことです。「お墓参りが与えてくれる笑顔をたくさん作ること」が、石産協の最重要課題のひとつです。心の豊かさや毎日の充実感につながる「お墓が持つ意味」を掘り起こし、現代の消費者が望む、心の豊かさや毎日の精神的充足感をお墓と石という素材を通して実現する——それが石産協の使命だと私は考えています。消費者に媚びず、時代のうねりに動ぜず、凜としてお墓の魅力を、石という素材の持つ魅力を、発信してまいりましょう。時に雪を踏み、時に汗をぬぐいながら進む一歩一歩、一日一日が、未来につながっていることを信じて……。



TOPICS

『捨石』の出荷基準に関する検討委員会について

(社)日本石材産業協会 副会長
望月威男

昨年12月27日、経済産業省の指導により【福島県飯舘村に限る】「捨石」の放射能の汚染基準値を決定する委員会を当協会で発足しました。東京大学大学院田中知教授を委員長とし、放射線などの学者、関係府省の委員も参加し、砂利と同じ0.23シーベルト/h以下とすることを決定しました。1月30日には現地の皆様に除雪をしていただき、飯舘村の現地調査が行われ、測定方法などを確認しました。2月6日「捨石の出荷基準」を一般社団法人日本石材産業協会として施行し2月8日、(株)はなつか・伊藤採石工業の事業再開を許可され内閣府から飯舘村に通知されました。福島県の居住制限区域内の採石場の再開を心から待ち望んでいましたので、協会として飯舘村の企業活動に協力できたことは大変喜ばしいニュースとなりました。



連載

全国縦断支部紹介

宮城県支部



支部長
齋藤 浩

支部設立 2005年10月
人口 232万人(15位) 男:112万人 女:120万人
65歳以上が人口に占める割合:22.5%
世帯数 93万世帯
人口密度 319人/1km²
総面積 7,285km²
購読新聞 1位:河北新報
2位:朝日新聞
3位:読売新聞



[県章]

- Q.1 最近はまっているものはなんですか？
登山 昨年は富士山に登りました。
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか？
会社の神棚のお供えと家計簿の記帳
- Q.3 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかずでもいいです)を教えてください。
田酒(青森の名酒です)と野菜全般
- Q.4 地域の特産物 おすすめの一品を紹介してください。
(B級グルメやマニアックな物でもOK)
牛タン・ずんだもち
- Q.5 おすすめの観光地はどこですか。
(誰かを案内するとしたら？どこへ連れて行きたいか)
瑞鳳殿(伊達正宗の霊廟)
- Q.6 東京のおでんといえば「ちくわぶ」ですが、地元のおでんで珍しいネタはありますか？
「ちくわぶ」知っています。地元では「さんまのすり身」
- Q.7 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。
警察官
- Q.8 支部内の銘石を自慢してください。(石名とその自慢をお願いします)
伊達冠石:偉大な彫刻家『イサム・ノグチ』が愛した石
- Q.9 支部の活動を教えてください。(会議・行事・研修会内容など)
3か月に1回支部会議で各社の業務報告と研修会をしています。
- Q.10 支部員のホープの方を紹介してください。(企業名・役職・お名前と推薦理由)
(有)志賀石材店 専務取締役 志賀巧基 氏
(津波で被災しながらも、すぐに復旧工事に取り組んだこと)

香川県支部



支部長
坂本 英之

支部設立 2002年11月
人口 99万人(40位) 男:47万人 女:52万人
65歳以上が人口に占める割合:27%
世帯数 39万世帯
人口密度 527人/1km²
総面積 1,876km²
購読新聞 1位:四国新聞
2位:朝日新聞
3位:読売新聞



[県章]

- Q.1 最近はまっているものはなんですか？
愛犬とのボール遊び
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか？
1万歩歩くこと
- Q.3 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかずでもいいです)を教えてください。
イモ焼酎 チャンジャ
- Q.4 地域の特産物 おすすめの一品を紹介してください。
(B級グルメやマニアックな物でもOK)
たいらぎ貝の貝柱
- Q.5 おすすめの観光地はどこですか。
(誰かを案内するとしたら？どこへ連れて行きたいか)
東山魁夷せとうち美術館
- Q.6 東京のおでんといえば「ちくわぶ」ですが、地元のおでんで珍しいネタはありますか？
「ちくわぶ」は最近TVの『タモリ倶楽部』で知りました。地元では「いいだこ」
- Q.7 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。
教師…かな
- Q.8 支部内の銘石を自慢してください。(石名とその自慢をお願いします)
もちろん庵治石、青木石。とにかく、いいんです。
- Q.9 支部の活動を教えてください。(会議・行事・研修会内容など)
つい先日京都へ研修旅行。
鎌倉期の石造物、日本最大級の五輪塔などを見学しました。
今夏も恒例の石あかりロードを行います。ぜひ、ご来場ください。
- Q.10 支部員のホープの方を紹介してください。(企業名・役職・お名前と推薦理由)
松栄石材(有) 社長 松原和樹氏

REPORT

全国お墓なんでも相談室 2012年度 開催報告

今年度も支部の皆様のご協力のもと、『全国お墓なんでも相談室』を開催することができました。今後も石産協の公益事業として継続していきたいと考えています。[社会調査委員会 柴田清]

2012年9月15(土)～17日(月) サンドーム福井(丹南産業フェア2012)/福井県支部
2012年9月14(金)・15日(土) 岡山市表町商店街桃たろうポケット/岡山県支部
2012年10月2日(火) 静岡市男女共同参画センターあざれあ/静岡県支部
2012年10月27(土)・28日(日) 所沢航空記念公園(所沢市民フェスティバル)/埼玉県支部
2012年11月3(土)・4日(日) 笠間市芸術の森公園(茨城ストーンフェスティバル)/茨城県支部
2012年11月3日(土) 松山市ローブウエイ街/愛媛県支部
2012年11月24(土)・25日(日) 徳島市ショッピングプラザタクト/徳島県支部
2012年12月9日(日) 米沢市中部コミュニティセンター/山形県支部
2013年2月9日(土) 日本原燃サイクル情報センター(小春通り祭)/青森県支部
2013年3月5日(火) 札幌駅前通地下歩行空間/北海道支部
2013年3月11日(月) 江別市/北海道支部

採石原石・加工部会 合同会議 真鶴研修 開催

2013年2月8日(金)

研修会参加者:80名／会議参加者:86名

研修会では小松石の採石場と工場見学。本小松石の最大の特徴は気候や湿度によって石の表情が変わり、年月を経ることにより風合いが増すことです。また、その性質は緻密で耐久性、耐火性に富み、磨かれた石は灰緑色、赤褐色などの色調で日本人の心を表す「わび」「さび」といった素朴な落ち着いた品格を持った石です。採石場では真鶴の(有)亀川石材店・亀川洋さんから山とその歴史や材質について、熱心な説明をうけ、工場では原石や石造物、製品の見学会を行いました。見学終了後は熱海後楽園ホテルにて、望月副会長の講演を拝聴。そして、「日本の石の良い所を語ろう!」をテーマにテーブルディスカッションを行いました。意見はポジティブなことだけにまとめるというルールを作ることで普段携わっている生産者さえ気づかない様々な良いところが見え、国産品のイメージアップや生産者の士気を高めることにつながりました。今回、短いながらも非常に有意義のある時間となったため、意見データを分析し、今後は部会からの発表を予定しています。〔友常石材(株) 友常千秋〕

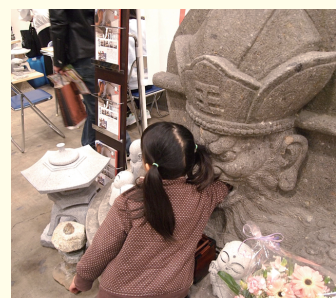
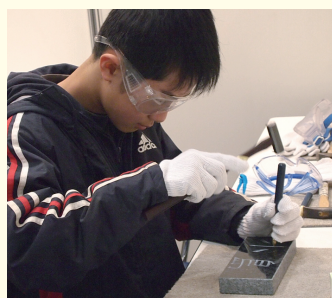


ものづくり立国 『10,000人の夢王国』出展

2013年2月23日(土)・24日(日)

幕張メッセ国際展示ホール5にて

会場に響き渡る「コンコン…コン…」の音に引かれ興味深げに立ち寄る男の子。表札づくりにチャレンジです。ノミを使って彫り進める表札は一筋縄ではいかない石の硬さに家族全員で交代しながら夢中になって取りかかっている姿はとても印象的でした。モザイクアートに集中する女の子、石を触るのが大好きな男の子はグルーガン片手に立体的に石を積み、それぞれがとても楽しんでいました。石産協ブースでは真ん中に白石の大きな閻魔大王が鎮座し『石であそぼう、石で作ろう』をテーマに体験型ブースを出展し、石の魅力と石産協のPRに大いに協力できたイベントとなりました。〔(有)坂口石材工芸 坂口 登〕



新入会員紹介 会員数:1,281名(2013.2.21現在)

神奈川県



(株)高橋石材店
会員代表:高橋幸一
設立:昭和50年
業種:墓石

福井県



(株)セキサイ
会員代表:堂前秀浩
設立:平成21年
業種:建築・墓石・加工

大阪府



(株)シージェイエル
会員代表:中本俊彦
設立:平成24年
業種:関連

鳥取県



川元石材
会員代表:川元和彦
設立:昭和45年
業種:墓石

【会員の皆様へ】

4月1日より新年度が始まります。年会費の請求は6月27日(木)ご指定口座からの一括引落です。例年通り、請求書は総会資料とともに5月下旬ごろお送りいたします。お届け住所や引き落とし口座などの変更のある方は至急事務局までお知らせください。

お墓ディレクターNEWS “終活”ってな～に？

2013年2月13日・14日の2日間に亘って開催された『お墓ディレクター1級取得者研修会』【in大阪】

第一回【in横浜】(2011年)、第二回【in東京】(2012年)に続いて行われた一泊二日研修、第三回の今年度は大阪にて開催しました。第1部:講師 寺尾俊一氏による「成功する葬儀社から見る“終活”とは…」にて幕を開け、第2部:講師 大橋理宏氏による「石材店目線での“終活”への取り組み方は…」と続き、第3部:コーディネーター 川上明広氏によるグループディスカッションでは、「石材店にとって“終活”に取り組むメリットとデメリットの追究」そして「今後の“終活”はどうなる」また「石材店のスキルアップの方法は…」などなど各グループでテーマごとに熱心な意見が飛び交い、時間が足りなくなる盛況ぶりでした。研修会二日目も、『一心寺』『大阪城』と巡り、充実の半日でした。今後も研修内容や開催場所を協議しながら継続して行う予定ですので、是非多くの1級ディレクターのご参加をお待ちしております。【お墓ディレクター委員会 花本豊實】

column 全国のお墓ディレクターの人数

1級ディレクター

644人

2級ディレクター

4,624人



(株)大橋石材店 大橋理宏氏



(株)オフィスシオン 寺尾俊一氏

行事案内 2013 3月～6月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの新着情報からご確認いただけます。【会員限定閲覧ページ ID:2013/パスワード:2013】

3月24日(日)・25日(月)

東北地区全体会議

秋保温泉緑水亭(宮城県仙台市)

「日本回帰プロジェクト」をテーマにディスカッションを行い翌日は、石巻市内や寺院の見学を実施します。

4月1日(月)締切

お墓ディレクター更新

今年度の更新は認定番号の頭が『07』の方です。対象者には1月中旬頃必要書類を送付いたしました。締切間近、期日までに手続きをお願いいたします。

6月19日(水)・20日(木)

年次大会2013

都立産業貿易センター浜松町館

講演会とワークショップで構成される年次大会です。1人でも多くのご参加を心からお待ちしております。詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

6月19日(水) 15:20～

第4回定時総会

都立産業貿易センター浜松町館

正会員の皆様の議決権をもって開催される総会です。ご案内及び委任状が届きましたら必ずご返信ください。また資料は5月に発送いたしますのでご確認の上ご出席ください。

お知らせ 八王子市で玉掛け作業中に死亡事故発生。

八王子労働監督署より石産協へ玉掛け中に起きた事故の経過報告と注意喚起のお知らせが届きました。問題となっているのは、この事故が無免許の作業員が行っていたからです。石産協に入会されている企業の多くでは、「玉掛け」の資格以外でも「フォークリフト」「クレーン取扱い」等の多岐にわたる講習受講や免許が必要なのはご存じだと思います。しかし、実際には、こうした作業を無免許で行っているケースを耳にします。「いつかは取らなくては…」と書いていても仕事の忙しさに追われて取れない事が多いようです。死亡事故が起きると死亡したその本人だけでなく、そのご家族の方への補償も含めて責任が膨らみます。経営者の責任として必要な講習の受験、免許取得をお願いします。

石産協では、会員企業の免許取得促進を継続して行っており、「責任ある石産協」の構築を目指してまいります。主旨をご理解頂きご協力をお願いします。



写真はイメージです。本記事とは一切関係ありません。

編集後記 [広報委員会 青木秀敏]

広報委員会がこの「石産協通信」を編集することになり、今回が二回目の発行です。会員の皆様がこの会報をどのように感じておられるのか、有益な情報として受け取っていただけているか、非常に気掛かりなところではあります。

今号では「捨石の放射能汚染安全基準値設定」や「玉掛け事故」を取り上げましたが、このような情報は通常「ローカル情報」として一部の方だけの情報として埋もれてしまっていると思われますが、業界全体が業界発展のために周知してほしい情報であったり、業界全体で考えなければならない情報であったりします。

そこで、広報委員会では全国の会員様より、石材業界に関する情報を広く募集しております。「心温まる話」「笑える話」「悲しいお知らせ」「切実な問題」「密告(^^)」など虚偽の情報以外なら何でもOKです。通常なら「ローカル情報」で終わってしまうことでも、業界全体のためになる情報とし全国の会員様と共に学び、共に考えましょう。

各会員様の未来にとって業界全体の発展、業界の改善が強みになることは間違いありません。この「石産協通信」がその基になるように、皆様からの情報提供を心からお待ちしております。

情報は石産協事務局【広報委員会】宛

E-mail office@japan-stone.org / Fax.03-3251-7681